秋田工業高等専門学校		開講年度 令和05年度 (2023年度)		2023年度)	授業科目 特別講義Ⅲ			
科目基礎		」 →↑│ │ │ ↑ ↑│		intrioo+/支(<u> </u>		バルリー・一・	
科目番号	EIFE	0011			科目区分	専門 / 選	#R	
<u>170日7</u> 授業形態		授業			単位の種別と単位			
開設学科			創造システム工学科(マテリアル・プロセス工			4	. 2	
開設期		前期				2		
教科書/教		自製プリン			1	•		
担当教員		山添 誠隆,丸	九山 耕一					
到達目標	票							
1. 秋田県 2. 秋田県 3. 秋田県 について打	県の産業政策 県の産業・ 県の産業・ 是供された	策 技術の特色 技術の背景と課	題				学が各々の実体験と視点から 必要なことを抽出する。	
ルーブリ	<u> </u>		I		T	= +	10	
					標準的な到達レベ		未到達レベルの目安	
評価項目1	L		秋田県の産業政第 せる。	策の課題点を見出	秋田県の産業政策	の特色がわかる	, │秋田県の産業政策の特色がわから │ ない。	
評価項目2	2		秋田県内に必要が	は起業化マインド アイデアが形成さ	秋田県内の企業がどのように経営 、技術開発しているのかわかる。		秋田周内の企業がどの F S に経営	
評価項目3	3		秋田県内における 、地域のオープン 創出に必要な知り	る産業の背景から ンイノベーション 見を整理できる。	秋田県内における。 題がわかる。	産業の背景と課	秋田県内における産業の背景と課題がわからない。	
学科の至	引達目標工	項目との関係	ŧ					
(C)専門知	識の充実(C-1 (C)専門知語	戦の充実 C-3					
教育方法	去等							
概要		である。な 半導体」) する。 各実務家教	お, 地域の特色で , アントレプレナ 	である再生可能エネーー創出関連(「ア	ルギー関連(再工 ントレ」)に直接的 	ネ」), 東北地	の現状理解と、課題発見、課題解決 回識を整理するための講義を行うもの 也方の戦略である半導体製造関連(「 なする内容に、それぞれ〇、△を付記	
授業の進ん	か方・方法	各教員から	「課題」の提出を	求める。また、講	の授業を、講義形式 義内容とは別に、「	特別課題しの提	出を求める。	
	か方・方法	各教員から 合格点を6 (20点) 講義(で関係 欠課(5点派 各教員より	「課題」の提出を 0点以上とする。 の比率とする。 Teamsから配布す する「課題」と「 域点/1回)または 求められる課題を	求める。また、講成績は、「課題」 がる。授業中の閲覧 をTeal 増刻(2点減点/1匹 提出する際に、充	義内容とは別に、「 の点数(50点)+ 「を可とするが、印 いまに提出する。提出 」)を「授業への取り 分な調査と考察を自	特別課題」の摂 「特別課題」 	(30点) + 「授業への取り組み」 	
	め方・方法	各合(講演 と を を を を を を を を を を を を を を を を を を	「課題」の提出を の点とする。 Teamsから配って する「課題」とは 或点/1回)る課題ととば 求めらはない。 提出生講演生と、・ 野間では 関いの現状や にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にのまました。 にのままでは にのまでは にのまで にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまで にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまで にのまで にのまで にのまでは にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで	求める。また、講成績は、「課題」 する。授業中の閲覧 特別課題」をTeal 遅刻(2点減点/1匹提出する際に、充 位取得が困難になる は位取得が配配でいて で得たするになっていて得た情報に	義内容とは別に、「 の点数(50点)+ を可とするが、印品 msに提出する。を提出 別)を「授業への取り 分な調査と留意とより ることにといる がある。 資料と、 意識 対する問題 意識 対する問題	特別課題」の排「特別課題」の指別課題」 「特別課題」 「等は各自で行る。」 「は期み」として行います。 「学自修」のつています。 「学の所でいます。」 「学ののつでは、一定といるできます。」	(30点) + 「授業への取り組み」 	
注意点		各合(講演 と を を を を を を を を を を を を を を を を を を	「課題」の提出を の点とする。 Teamsから配って する「課題」とは 或点/1回)る課題ととば 求めらはない。 提出生講演生と、・ 野間では 関いの現状や にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にのまました。 にのままでは にのまでは にのまで にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまで にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまで にのまで にのまで にのまでは にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで	求める。また、講成績は、「課題」 する。授業中の閲覧 特別課題」をTeal 遅刻(2点減点/1匹提出する際に、充 位取得が困難になる は位取得が配配でいて で得たするになっていて得た情報に	義内容とは別に、「 の点数(50点)+ を可とするが、印味 間かるので、 別かなりでは担野業へので、 別かなりででで、 別かなりででは、 記がなりでで、 はなりでは、 でいるが、のでは、 のでいるが、 のでい。 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでい。 のでい。 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでい。 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでい。 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでい。 のでいるが、 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでいるが、 のでい。 のでい。 のでいるが、 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい	特別課題」の排「特別課題」の指別課題」 「特別課題」 「等は各自で行る。」 「は期み」として行います。 「学自修」のつています。 「学の所でいます。」 「学ののつでは、一定といるできます。」	(30点) + 「授業への取り組み」 ハ、授業に適宜活用する。 と減点(5点/1課題)する。 成績に反映させる。 引っことを推奨する。「課題」と「特 秋田県等)のHP等の閲覧から得た情	
注意点 授業の属		各合(講演に) を係派 () を係 () を係 () を係 () を後 て で () を (「課題」の提出を の点とする。 Teamsから配って する「課題」とは 或点/1回)る課題ととば 求めらはない。 提出生講演生と、・ 野間では 関いの現状や にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にの現れでは にのまました。 にのままでは にのまでは にのまで にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまで にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまでは にのまで にのまで にのまで にのまでは にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで にのまで	求める。また、講成績は、「課題」 する。授業中の閲覧 特別課題」をTeal 遅刻(2点減点/1匹提出する際に、充 位取得が困難になる は位取得が配配でいて で得たするになっていて得た情報に	義内容とは別に、「 の点数(50点)+ を可とするが、印味 間かるので、 別かなりでは担野業へので、 別かなりででで、 別かなりででは、 記がなりでで、 はなりでは、 でいるが、のでは、 のでいるが、 のでい。 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでい。 のでい。 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでい。 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでい。 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでいるが、 のでい。 のでいるが、 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでいるが、 のでい。 のでい。 のでいるが、 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい。 のでい	特別課題」の排「特別課題」の指別課題」 「特別課題」 「等は各自で行る。」 「は期み」として行います。 「学自修」のつています。 「学の所でいます。」 「学ののつでは、一定といるできます。」	(30点) + 「授業への取り組み」 ハ、授業に適宜活用する。 と減点(5点/1課題) する。 或績に反映させる。 デうことを推奨する。「課題」と「特 秋田県等)のHP等の閲覧から得た情 考察した内容、新たなアイデアにつ	
注意点 授業の属	属性・履修	各合(講演に) を係派 () を係 () を係 () を係 () を後 て で () を (「課題」の提出を の上 のとする。 Teamsから配布 「課」を配布 「課」を配布 「課」を配力 「は点/1回)る には では に に に に に に に に に に に に に に に に に	求める。また、講成績は、「課題」 する。授業中の閲覧 特別課題」をTeal 遅刻(2点減点/1匹提出する際に、充 位取得が困難になる は位取得が配配でいて で得たするになっていて得た情報に	義内容とは別に、「 の点数(50点) + で可とするが、には で可とするが、には で可とするが、には では、 には、 には、 には、 にで、 には、 にで、 にで、 にの、 にの、 にの、 にの、 にの、 にの、 にの、 にの	特別課題」の排「特別課題」の指別課題」 「特別課題」 「等は各自で行る。」 「は期み」として行います。 「学自修」のつています。 「学の所でいます。」 「学ののつでは、一定といるできます。」	(30点) + 「授業への取り組み」 ハ、授業に適宜活用する。 と減点(5点/1課題) する。 或績に反映させる。 デうことを推奨する。「課題」と「特 秋田県等)のHP等の閲覧から得た情 考察した内容、新たなアイデアにつ	
注意点 授 業 の属 」 アクラ	属性・履作 =-/ブラーコ	各格名 0 () を係れて 2 () を係れて 3 () を係れて 3 () を係れて 3 () を係れて 4 () を係れて 5 () を係れて 5 () を係れて 5 () を 6 () を 6 () を 6 () を 6 () を 7	「課題」の提出を の点以上とする。 Teamsから配布で する「課題」として 就成/1回)る課題」として 就成がられた。 提出は講演はといる。 場合のでは、 場合のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	求める。また、講成績は、「課題」 する。授業中の閲覧 特別課題」をTeal 遅刻(2点減点/1匹提出する際に、充 位取得が困難になる は位取得が配配でいて で得たするになっていて得た情報に	義内容とは別に、「 の点数(50点) + で可とするが、には で可とするが、には で可とするが、には では、 には、 には、 には、 にで、 には、 にで、 にで、 にの、 にの、 にの、 にの、 にの、 にの、 にの、 にの	特別課題」の排「特別課題」の指別課題」 「特別課題」 「等は各自で行る。」 「は期み」として行います。 「学自修」のつています。 「学の所でいます。」 「学ののつでは、一定といるできます。」	(30点) + 「授業への取り組み」 ハ、授業に適宜活用する。 と減点(5点/1課題) する。 或績に反映させる。 デうことを推奨する。「課題」と「特 秋田県等)のHP等の閲覧から得た情 考察した内容、新たなアイデアにつ	
注意点 授 業 の属 」 アクラ	属性・履作 =-/ブラーコ	各格名 0 () を係れて 2 () を係れて 3 () を係れて 3 () を係れて 3 () を係れて 4 () を係れて 5 () を係れて 5 () を係れて 5 () を 6 () を 6 () を 6 () を 6 () を 7	「課題」の提出を の上 のとする。 Teamsから配布 「課」を配布 「課」を配布 「課」を配力 「は点/1回)る には では に に に に に に に に に に に に に に に に に	求める。また、講成績は、「課題」 する。授業中の閲覧 特別課題」をTeal 遅刻(2点減点/1匹提出する際に、充 位取得が困難になる は位取得が配配でいて で得たするになっていて得た情報に	義内容とは別に、「 の点数(50点)+ で可とするが、印記を可とままでは、「 で可とは出する。のでは、「 で可とは出する。のでは、「 で「提出できるでは、では、「 で「提出できるでは、できるでは、できるでは、では、では、 で「というできない。」では、「 でいるでは、できない。」では、「 でいるでいるでは、「 でいるでは、 でいるでし、 でいるでは、 でいるで、 でいるで、 でいるでは、 でいるで、 でいるで、 でいるで、 でいる。 でい。 でいるで、 でいる。 でいる。 でいるで、 でいるで、 でいるで、 でいる。 でいるで、 でいる。 でいる。 でいる。 でし、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。	特別課題」の排「特別課題」の指別課題」 「特別課題」 「等は各自で行る。」 「は期み」として行います。 「学自修」のつています。 「学の所でいます。」 「学ののつでは、一定といるできます。」	(30点) + 「授業への取り組み」 ハ、授業に適宜活用する。 と減点(5点/1課題) する。 成績に反映させる。 デうことを推奨する。「課題」と「特 秋田県等)のHP等の閲覧から得た情 考察した内容、新たなアイデアにつ 図 実務経験のある教員による授業	
注意点 授業の属 □ アクラ	属性・履作 =-/ブラーコ	各合() を係がらら) を係がを点 料関にの () を係がを点 料関にの () を係がり、 () を係がり、 () をの ()	「課題」の提出を の点以上とする。 Teamsから配布で する「課題」として 就成/1回)る課題」として 就成がられた。 提出は講演はといる。 場合のでは、 場合のでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	求める。また、講成績は、「課題」 する。授業中の閲覧 特別課題」をTeal 遅刻(2点減点/1匹提出する際に、充 位取得が困難になる は位取得が配配でいて で得たするになっていて得た情報に	義内容とは別に、「 病内数(50点)+ 「を可とするが、印味」 「で可とするが、印味」 「ないない」 「おいるでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	特別課題」の提供をはいる。	(30点) + 「授業への取り組み」 ハ、授業に適宜活用する。 と減点(5点/1課題) する。 成績に反映させる。 デうことを推奨する。「課題」と「特 秋田県等)のHP等の閲覧から得た情 考察した内容、新たなアイデアにつ 図 実務経験のある教員による授業	
注意点 授 業 の属 □ アクラ	属性・履作 =-/ブラーコ	各名(2)(3)(4)(4)(5)(4)(6)(5)(7)(7)(8)(8)(8)(8)(9)(8)(9)(8)(10)(10)(11)(10)(12)(10)(12)(10)(12)(10)(13)(10)(14)(10)(15)(10)(16)(10)(17)(10)(17)(10)(18)(10)(19)(10)(「課題」の提出を 0点以上をする。 Teamsから配布で する「に関する」 では、「に関する」では、「は、「にのいるでは、「にのいるでは、」では、「は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	求める。また、講成績は、「課題」 する。授業中の閲覧 特別課題」をTeal 遅刻(2点減点/1匹提出する際に、充 位取得が困難になる は位取得が配配でいて で得たするになっていて得た情報に	義内容とは別に、「 病内数(50点)+ 「を可とするが、、印とは出する。のは、のは、のは、ののでは、ののでは、ののでは、のでは、のでは、のでは、のでは、	特別課題」の提供期間を表現である。 「特別課題」 「等は各を遅れている。」 「等は保に遅として行いる。」 「等は保に遅として行いる。」 「等は、のののでは、のののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、ののののでは、のののでは、できない。」 「ないっとは、いっとは、いっとは、いっとは、いっとは、いっとは、いっとは、いっとは、	(30点) +「授業への取り組み」 ハ、授業に適宜活用する。 と減点(5点/1課題)する。 成績に反映させる。 引うことを推奨する。「課題」と「特 秋田県等)のHP等の閲覧から得た情 考察した内容、新たなアイデアにつ 図 実務経験のある教員による授業 票 受業内容・方法および注意点がわかる から稼動まで、および関連技術につい	
注意点 授 業の 原 □ アクラ	属性・履作 =-/ブラーコ	各合() を係ぶりを () を係ぶりを () を係ぶりを () を係ぶりを () を係ぶりを () を係ぶりを () を ()	「課題」の 「課題」の 「課題」とする。 「Eamsから」とする。 「Eamsから」では である。 「はずる」では では、「はいる」では では、「いる」では では、「いる」では では、「はいる。「はいる」では では、「はいる。「はいる。」では では、「はいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	求める。また、講成は、「課題」 する。授業中の関覧 特別課題」をTeal 遅刻(2点減点/1回提出のでは、 提出は、「ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	義内容とは別に、「 ・ はない。」 ・ はない。」 ・ はない。」 ・ はない。 ・ はない。 ・ はない。 ・ はい。 ・ は、 ・ は、	特別開課員」」 「等期別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別ので行っています。「「知知的別別の別別の別別の別別の別別の別別の別別の別別の別別の別別の別別の別別の別別の	(30点) +「授業への取り組み」 ハ、授業に適宜活用する。 と減点(5点/1課題)する。 成績に反映させる。 引うことを推奨する。「課題」と「特 秋田県等)のHP等の閲覧から得た情 考察した内容、新たなアイデアにつ 図実務経験のある教員による授業 要業内容・方法および注意点がわかる から稼動まで、および関連技術につい エネ:〇) ニカルフィルタ、ポケットベル、携帯 機器、輸出用業務用無線端末機器等の	
注意点 授 業 の属 □ アクラ	属性・履作 =-ィブラーコ	各合() を係ぶりを方に田員 と	「課題」の提出る。 の提出る。のとする。 Teamsから別示では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	求める。また、講成は、「罪題」 する。授業中の閲覧を下をは、「課題」を下をでは、「ない」では、「はいい」では、「はいいい」では、「はいいいい」では、「はいいいい」では、「はいいい」では、「はいいい」では、「はいいい」では、「はいいい」では、「はいいいい」では、「はいいいい」では、「はいいい」では、「はいいい」では、「はいいいい」では、「はいいいいい」では、「はいいいい」では、「はいいいいいいいい」では、「はいいいいいいいいいいいいいい。」は、「はいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	義内容とは別に、「+ 「をできるが、にない。」にない。 「ないのでは、「中では、「中では、「中では、「中では、」」には、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中では、「中で	特別課題」」 「等別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別別	(30点) +「授業への取り組み」 い、授業に適宜活用する。 と減点(5点/1課題)する。 成績に反映させる。 引うことを推奨する。「課題」と「特 秋田県等)のHP等の閲覧から得た情 考察した内容、新たなアイデアにつ ②実務経験のある教員による授業 要業内容・方法および注意点がわかる から稼動まで、および関連技術につい エネ:〇)	
注意点 授 業の 原 □ アクラ	属性・履作 =-ィブラーコ	A	「課題」の提出る。 の比率とする。 Teamsから別示では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	:求める。また、講成は、「罪題」 する。授業中の閲覧 特別課題」をTeal 遅刻(2る際には、「犯している。 に提出のでは、「ではない。」では、「ではない。」では、「ではない。」では、「ではない。」では、「ではない。」では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、「では、」では、「では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、」では、「では、、」では、「では、、」では、、「では、、」では、「では、、」では、「では、、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	義内に、「+ に対して、 「	特別 特別 特別 特別 特別 開課 開題 自定として で行るで で行るで での での での での での での での での での で	(30点) +「授業への取り組み」 い、授業に適宜活用する。 と減点(5点/1課題)する。 成績に反映させる。 引うことを推奨する。「課題」と「特 秋田県等)のHP等の閲覧から得た情 考察した内容、新たなアイデアにつ ②実務経験のある教員による授業 要業内容・方法および注意点がわかる から稼動まで、および関連技術につい エネ:〇) ニカルフィルタ、ポケットベル、携帯 機器、輸出用業務用無線端末機器等の 産についてわかる。(半導体:〇)	
注意点 授業の原 ファクラ 授業計画	属性・履作 ィブラーニ 画	各合(講成欠各別事報事い	「東原」	求める。	義内に、「+ に対して、 「 + に対して、 「 + に 」 ・ に で は の に 、 「 + に 」 ・ に で で は で で に 、 「 + に 」 ・ に で で で で で で で で で で で で で で で で で で	特 特別 特別 特別 所 特別 特別 	(30点) +「授業への取り組み」 ハ、授業に適宜活用する。 と減点(5点/1課題)する。 成績に反映させる。 行うことを推奨する。「課題」と「特 秋田県等)のHP等の閲覧から得た情 考察した内容、新たなアイデアにつ 図実務経験のある教員による授業 要業内容・方法および注意点がわかる から稼動まで、および関連技術につい エネ:〇) ニカルフィルタ、ポケットベル、携帯 機器、輸出用業務用無線端末機器等の 産についてわかる。(半導体:〇) さ試験機の魅力がわかる。(半導体 と新製品の開発についてわかる。(半 用と情報通信技術についてわかる。	
注意点 授業の履	属性・履作 ィブラーニ 画	A	「東原」	求める。 また、 講のる。 に	義のには、「+ ロルカー は で は で は で は で が は で は で が は で は で が は で が な で で で で で で で で で で で で で で で で で	特 「等 開 開 開 開 開 開 開 開 開 に に に に に に に に に に に に に	(30点) +「授業への取り組み」 ハ、授業に適宜活用する。 と減点(5点/1課題)する。 成績に反映させる。 デうごとを推奨する。「課題」と「特 秋田県等)のHP等の閲覧から得た情 考察した内容、新たなアイデアにつ 図実務経験のある教員による授業 要業内容・方法および注意点がわかる から稼動まで、および関連技術につい エネ:〇) ニカルフィルタ、ポケットベル、携帯 機器、輸出用業務用無線端末機器等の 産についてわかる。(半導体:〇) さ試験機の魅力がわかる。(半導体 と新製品の開発についてわかる。(半 用と情報通信技術についてわかる。)	
注意点 授業の原 アクラ	属性・履作 ィブラーニ 画	A	「課点ないとは、 「課点ないとする。	求める。	義のには、	特「 特」 特」 「 は限み」 は限み」 は限み」 を属したす は限み」 の は限み」 の は限み」 の は限み」 の は限み」 の は限み」 の の は配したす の の の で の の の で の の の の の の の の の の の の の	(30点) +「授業への取り組み」 ハ、授業に適宜活用する。 と減点(5点/1課題)する。 成績に反映させる。 「デラごとを推奨する。「課題」と「特 秋田県等)のHP等の閲覧から得た情 考察した内容、新たなアイデアにつ 図実務経験のある教員による授業 要業内容・方法および注意点がわかる から稼動まで、および関連技術につい エネ:〇) ニカルフィルタ、ポケットベル、携帯機器、輸出用業務用無線端末機器等の産についてわかる。(半導体:〇) ご試験機の魅力がわかる。(半導体) ご試験機の魅力がわかる。(半導体) ご試験機の魅力がわかる。(半導体) これまするための開発についてわかる。(半期と情報通信技術についてわかる。(半期と情報通信技術についてわかる。) これまするための産業技術でフターにつう支援についてわかる。(再エネ	

	10週	特色ある技術 V (講師:三共光学工業株式会社,高橋猛)	「検査装置」「レーザー加工機」「医療機器」「セキュリティー機器」分野における設計技術,加工技術,測定・評価技術の基礎がわかる。(半導体:△)
	11週	秋田の産業政策Ⅲ(講師:秋田県産業技術センター , 遠田幸生)	再生可能エネルギーに関する秋田県の取り組みとその 資源、電力使用の仕組みについてわかる。(再エネ : O)
	12週	特色ある技術VI-1(講師:秋田県産業労働部,石川直人)	エレクトロニクス産業を支えてきた委託加工の形態の 変遷と小集団活動によるコスト削減についてわかる。 (半導体: △, アントレ: 〇)
	13週	特色ある技術VI-2(講師:秋田県産業労働部,石川直人)	労働集約型から装置型への移行と国際競争についてわかる。(半導体:△,アントレ:O)
	14週	特色ある技術VI-3(講師:秋田県産業労働部,石川直人)	再生可能エネルギー関連産業における秋田県のポテンシャルと関連技術についてわかる。(再エネ:○,アントレ:○)
	15週	まとめ	本授業のまとめと特別課題の出題, アンケート調査等
	16週		

モデルコス	アカリキュ	ラムの学習	i	目標	·	•
分類	1	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
				周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	
				自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。	3	
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	
				日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内 での相談が必要であることを知っている	3	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	3	
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	
分野横断的	態度・志向	能度, 士向	能麻土力	その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	3	
能力		性	性	キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	3	
				企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	3	
				企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	3	
				企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己 の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。	3	
				企業には社会的責任があることを認識している。	3	
				企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。	3	
				調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界 の抱える課題を説明できる。	3	
				企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要である ことを認識している。	3	
				社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3	
				技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	3	
				技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。	3	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように 活用・応用されているかを認識できる。	3	
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	3	

		コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき 能力」の必要性を認識している。				
評価割合						
	課題		特別課題	取り組み	合計	
総合評価割合	50		30	20	100	
知識の整理	30		10	0	40	
知識の活用	20		10	0	30	
広視野の判断	0		10	0	10	
積極性・誠実性	0		0	20	20	